

令和5年度 学校教育活動に関するアンケート結果（保護者・地域向け資料）

12月には学校教育活動アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果がまとまりました。今年度の反省点を次年度の教育活動に生かしていきます。

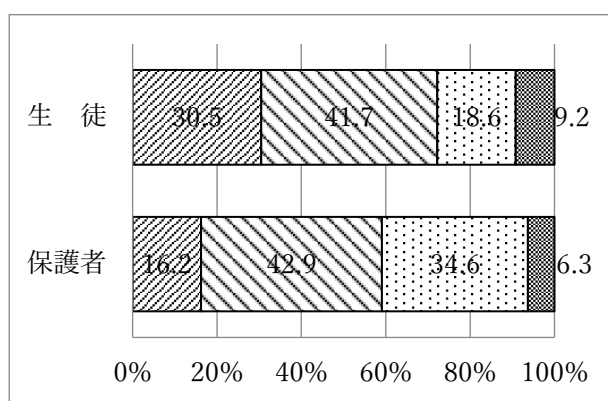
【満足度について】

- ・質問には4「そう思う」3「どちらかというと思う」2「どちらかというと思わない」1「まったく思わない」の四段階で答えていただきました。左から4、3、2、1で表記しました。
- ・4「そう思う」3「どちらかというと思う」の合計を「満足度」としました。

1、生徒は夢や希望をもって生活している。

（生徒 72.2% 保護者 59.1%）

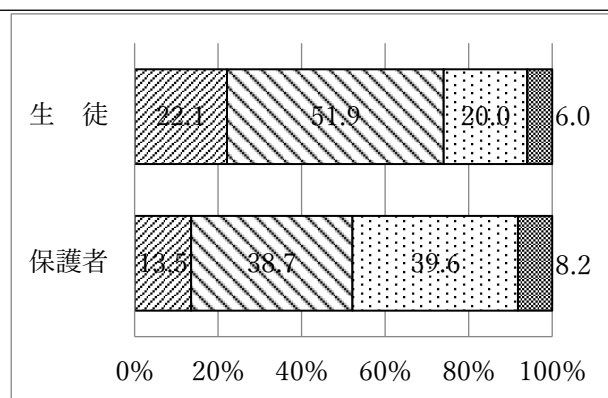
人は夢や目標をもつとがんばる気持ちが湧き、自分を大きく成長させると考えます。キャリア教育を一層充実させ、保護者、地域の方とともに生徒の夢を応援していきたいです。



2、生徒は自ら進んで（意気高く）学んでいる。

（生徒 74% 保護者 52.2%）

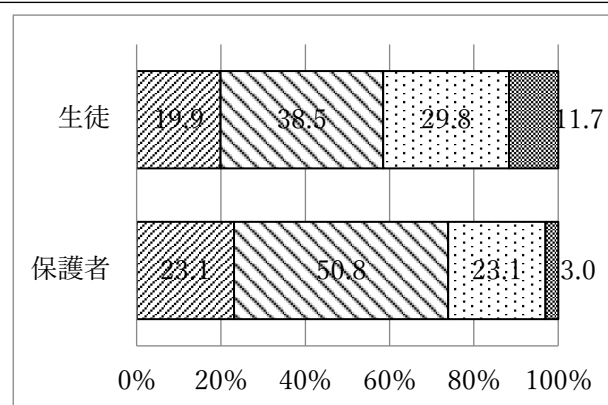
生徒の学習意欲は昨年度より2ポイント上昇しています。昨年度から取り組んでいる協同学習を今後も研究し、生徒主体の授業づくりを進めていきます。



3、生徒は自己肯定感（ありのままの自分をよいと思っている）をもっている。

（生徒 58.4% 保護者 79.4%）

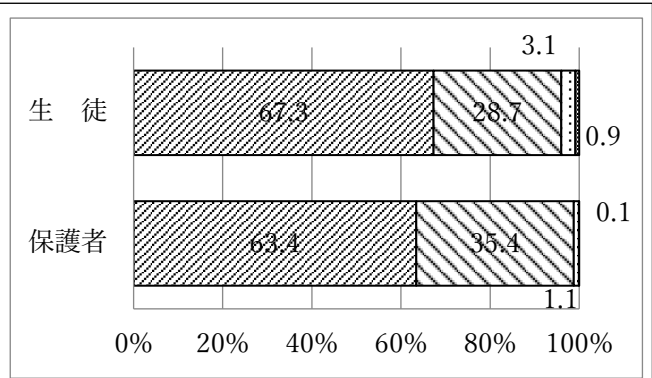
全国学テの結果においても自己肯定感の低さは課題となっています。自己肯定感を高めるにはどうしたらよいか、保護者、地域の方とともに考えていきます。



4、生徒は自分やまわりの命を大切にしている。

(生徒 96.0% 保護者 98.8%)

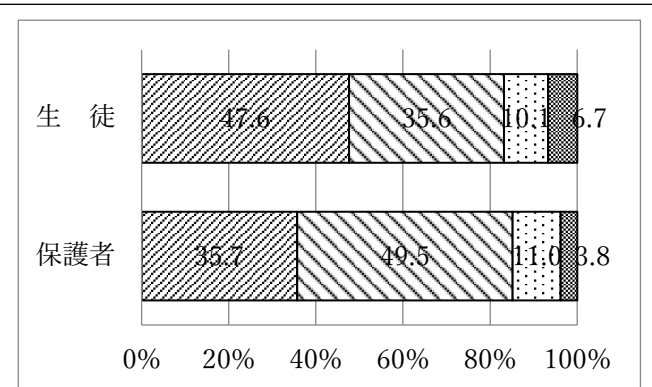
生徒、保護者ともに意識が高いことが分かります。各ご家庭で意識されている結果だと考えます。引き続き自他の命を大切にする生徒を育てていきたいです。



5、学校に自分の居場所がある。

(生徒 83.2% 保護者 85.2%)

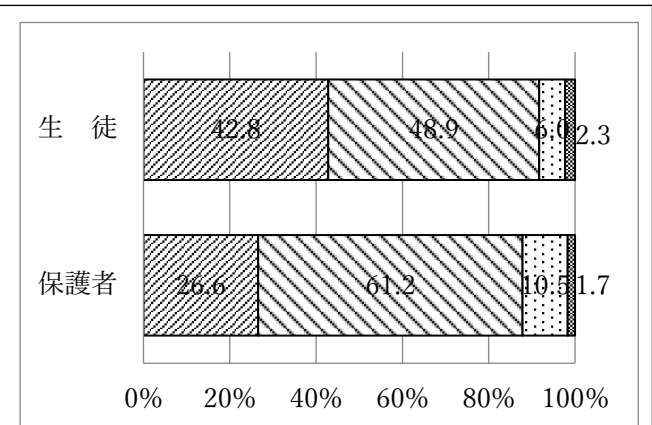
2割弱の生徒が学校に居場所がないと感じていることを真摯に受け止めます。学年、学校全体で生徒の様子を見ながら、協同学習における生徒相互の関係づくりを強化していきます。



6、生徒は豊かで広い(ゆたけき)心で意見の違いや多様性を認め合って生活している。

(生徒 91.7% 保護者 87.8%)

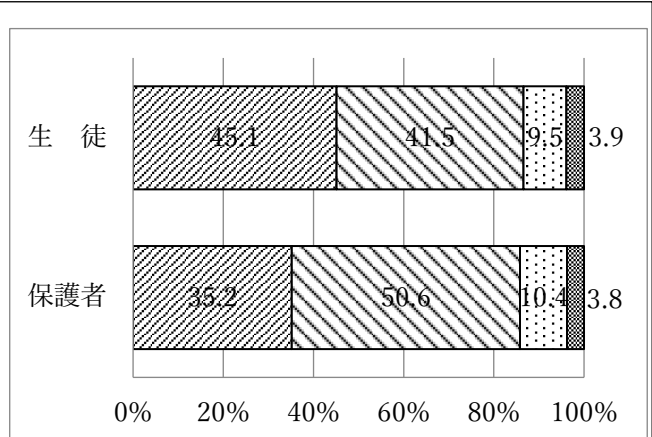
他者を尊重する心が育っていることは喜ばしいことです。ご家庭でも気にかけていただいている結果だと受け止めています。こととします。私たちもゆたけき心(寛容さ)で指導にあたりたいと思います。



7、生徒はまわりと相談したり力を合わせたりして活動している。

(生徒 86.6% 保護者 85.8%)

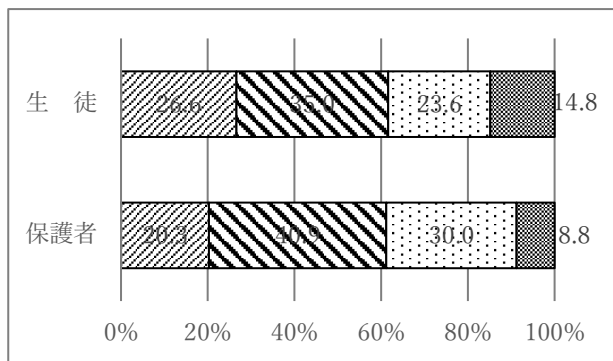
生徒のポイントが約7ポイント下がりました。学級や学年、部活動の場面など様々な場面で捉えると、自己評価が低くなったと考えられます。協同学習などを通して互いに協力し合える生徒を育てていきます。



8、困ったときに相談しやすい先生がいる。

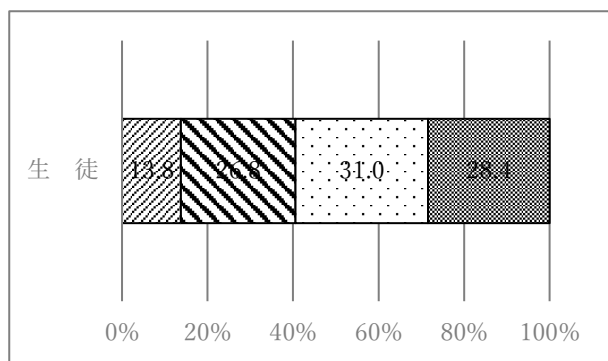
(生徒 61.6% 保護者 61.2%)

生徒、保護者ともにポイントが上昇しましたが、まだまだ低い数値です。引き続き丁寧な声掛けで、信頼関係を深めていきたいと思えます。



9、地域の行事や活動に参加することがある。(生徒 40.6%)

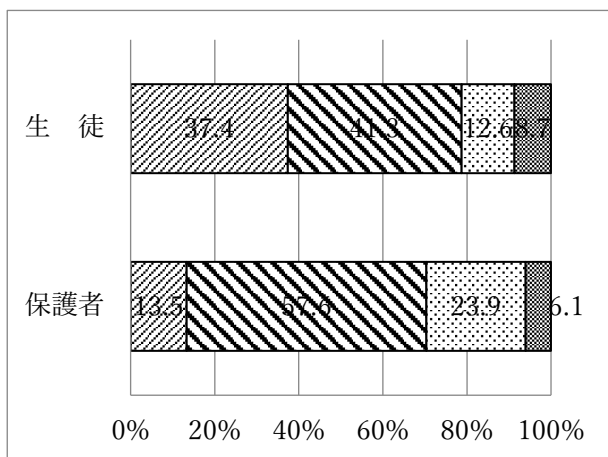
今年度は、はんだ山車まつり等の行事に多くの生徒が足を運んでいると聞いています。参加の捉え方が生徒によって違っていたことが予想されます。



10、生徒は乙川中学校が好き、保護者は学校やPTA活動にできる範囲で協力したい。

(生徒 78.7% 保護者 71.1%)

8割の生徒は好意的ですが2割は否定的。また、7割の保護者が学校やPTA活動に協力したいと回答してみえます。今後も学級・学年で保護者との信頼関係の構築に努め、乙川中応援団を増やしていきます。



11、保護者は学校や地域と力を合わせて、生徒の自立を支えている。

(保護者 61.2%)

教育活動を進めていく中で保護者や地域の方との協力は不可欠です。是非、生徒の様子を見に学校に足を運んでいただき、一緒に生徒の自立を支えていきましょう。

